



太陽系の起源を求めて

講師：河北 秀世（神山天文台台長 / 理学部 教授）

私たちの太陽系は46億年前に非常に冷たいガスの雲が集まってできました。その時、ガスの雲に含まれていた物質が、太陽系の材料となりました。では、その材料となったガス雲には、どんなものが含まれていたのでしょうか？また、それらの物質は、どこからやってきたのでしょうか？宇宙では様々な元素が新しく合成され、冷たいガス雲中で複雑な分子を形作っています。いったい、太陽系の材料は、どこで出来たのでしょうか？太陽系の起源、その謎を明らかにしてみたいと思います。



講師紹介

河北 秀世（かわきた ひでよ）

神山天文台長、本学理学部教授。

専門は太陽系天文学。主要研究テーマは、彗星から探る太陽系の起源。

2015年5月16日(土) 15:00～16:30

京都産業大学 神山天文台地下1階 サギタリウスホールにて開催

申込み：不要（当日直接、神山天文台までお越しください。入場無料）※満席の場合は入場できない場合があります。

対象：中学生以上の方

主催：京都産業大学 神山天文台

その他：講座終了後には「アストロノミー・カフェ」（16：30～18：00）を開催します。お茶を飲みながら 講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。

★当日は 19：00～21：00 まで天体観望会を実施致します。なお、天候不良の場合は宇宙の3D映像上映会を実施します。（19：00～、20：00～ 各回 30分程度）

